

田川市、教育基金新設へ

マルボシ酢会長の寄付活用

来春開校の小中一貫「猪位金学園」



伊藤市長(右)に目録を手渡す星野さん

贈を続けてきた星野さんは「猪位金校区は地域で声を掛け合うコミュニティが残っている。小中一貫校の教育に役立ててほしい」と話した。伊藤信勝市長は「教育環境を整える支援に感謝したい」とお礼を述べた。

星野さんは、同学園に図書1000冊を贈る予定という。

田川市は16日、来年4月に開校予定の市立猪位金小中一貫校「猪位金学園」(仮称)の教育振興に役立つ基金を設ける方針を明らかにした。猪位金小、中学校出身で食酢・調味料製造会社「マルボシ酢」(川崎町)会長の星野宗広さん(47)が同日、市に贈呈した寄付金を活用する。(小川哲雄)

市教委によると、金額は星野さんの意向で非公表。増築した鉄筋3階の中学校舎屋上に、寄付金の一部を使って天体観測用の開閉式ドームを設置し、残りを基金として活用する。観測ド

ームは、地域住民への開放も検討している。市は、基金新設に関する条例案を12月定例市議会に提案する。寄付金の贈呈式が市役所で行われた。2004年から同小に図書などの寄